2023年度:こども園自己評価の報告書　　東豊中こども園

評価項目	取り組み状況
教育・保育方針と内容	・日々の生活で清潔や安全、整理整頓を意識することが、安全な教育保育環境につながった。 ・子どもの日々遊びが、小学校での学習、学びにどうつながっているのかを５歳児を中心に小学校のカリキュラムに置き換えるなどしてつながる学びを可視化した。 ・毎月のカリキュラムの内容を一つずつ「10の姿」のどの部分を意識して教育保育をしているのかを分析したことで、各クラスの育てたいこども像が明確になり、保育計画の中でより子どもの育ちを促す遊びの設定につながっていった。
健康支援	・年間を通して感染症対策を行った。マスク、手指消毒は各個人にゆだねられることになり、園として手洗い指導を薬剤師と共に行う機会を持ち日々のことは看護師がクラスと連携をして行った。 ・体調不良の子は、看護師が中心に各家庭と連携を取り、早期発見、早期予防、早期治療に努めた。
安全指導・危機管理	・毎月の安全点検で、園の設備保全個所を見つけ、早急に整備を行った。 ・避難訓練では、消防署の職員と一緒に行う訓練や予告なしに行う訓練を行い、自分たちの訓練手順を振り返り、子どもたちをより安全に迅速に避難に導けるようにした。 ・各避難訓練では３分以内に一次避難をすることができた。
食育の推進	・各クラスで四季を通していろいろな野菜を栽培し、野菜を育てることについて興味関心を持つことができるようにした。 ・「旬」について知ったり、行事食以外の日々の給食の内容もクラスで子どもの年齢に応じて伝えたりすることで、食材に興味を持ち意欲的に喫食する子どもが増えた。
子育て支援（在園児および地域）	・日々のクラスの様子を配信アプリで伝えたり、個別にコドモンでの連絡でやり取りをしたりすることで、在園児の保護者とタイムリーに子どもの様子を共有することができた。 ・地域支援センターに来ている保護者の相談にのり、必要時は、本市で行っている相談事業の「つぼみ」（児童発達支援センター）に繋げられるように、関係機関と連携を取っている。
インクルーシブ教育保育	・ルーツを外国に持つ子どもや、個人の特性で集団活動にスムーズになじみにくい子どもを含めて、生活しやすい環境づくり、クラスづくりに努めている。 ・子ども一人一人の発達段階や、特性を理解し、クラスの活動に参加できる方法で教育保育行っている。
職員の資質の向上	＊園評価・・子ども事業課の行うアンケートの結果を振り返り、日々の教育保育に反映できるように努めている ＊自己評価・・研究保育（公開保育）を各クラス年に１回行うことで、園内外の職員や、関係諸機関から意見をいただき、子どもへの関わり

	方を振り返る機会にしている。 ＊職務状況報告を記載する際に、教育保育だけでなく、仕事への向き合い方も振り返る機会としている。 ＊ガイドライン・・豊中市の「教育保育環境ガイドライン」の項目を研究保育の時に各自決めて、それをもとに反省考察を行っている。
幼保こ小中の連携・接続	・園内研究のテーマが小学校との連携だったので、近隣の小学校と交流しながら、就学前の学びが小学校の教科にどのようにつながっているのかを小学校のカリキュラムに５歳の月カリキュラムをはめ込み、10の姿に落とし込んだデータを分析した。公開保育を行い、参加した豊中市内の公私立のこども園で共有する機会をもった。
評議員会	・地域の学校園所の関係者の方や、民生委員、児童委員、福祉委員の方が年間通して３回来園し、クラスの教育保育や環境について気づいたご意見をいただき、普段の園運営にフィードバックしている。 ・地域での見守りで連携できることを話し合う機会にしている。
その他	・「配信アプリ」を活用したり、既存のやり方を見直したりしながら、保護者や職員の負担にならないように行事や参観の行い方や、情報の提供、発信、受信を都度見直し、改善していく。

〇今後取り組むべき課題（重点的に取り組むべき課題）

課　　題	具体的な取り組み方法
・教育方針や子どもの様子をわかりやすく伝える ・困ったことや気になることがあったときに相談できる環境づくりに努める	・帰宅後もクラスの様子がわかるように配信アプリを使いクラスの様子を毎日発信し、子どもの様子や、クラスで行っている教育保育のねらいをわかりやすく伝わるようにしていく。 ・普段から登降園時に挨拶を交わし、保護者といつでも話ができるような関係づくりを心掛けていく。
・教育保育の質の向上	・研修や書籍で子どもとのかかわり方や、保育環境を振り返る機会を持てるようにし、園内に保育に関する書籍を置き誰でもが見られるようにする。 ・公開保育でいろいろな職員からアドバイスをもらい、タブレットを使って保育を録画し、子ども同士の関係や子どもの見方を反省会で振り返る機会を持ち、日々の教育保育に役立てる。

令和６年（2024 年）３月 31 日

豊中市立　東豊中こども園

園長名　黒澤津ルミ